

ジョージアへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2025年02月10日（継続）

ツヒンヴァリ/南オセチア及びその周辺地域、アブハジア及びその周辺地域	〔レベル3〕 「渡航は止めてください。（渡航中止勧告）」（継続） その国・地域への渡航は、どのような目的であれやめてください。 (場合によっては、現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性や準備を促すメッセージを含むことがあります。)
ロシアとの国境周辺地域	〔レベル2〕 「不要不急の渡航は止めてください。」（継続） その国・地域への不要不急の渡航は止めてください。 渡航する場合には特別な注意を払うとともに十分な安全対策をとってください。
上記を除く全土（首都トビリシ市を含む）	〔レベル1〕 「十分注意してください。」（継続） その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため特別な注意が必要です。

【ポイント】

- ツヒンヴァリ/南オセチア及びその周辺地域、アブハジア及びその周辺地域はジョージア政府の統治が及んでおらず、不測の事態が発生する可能性は否定できませんので、どのような目的でも同地域への渡航は止めてください。
- ロシアとの国境付近は、情勢が悪化した際には危険となりますので、不要不急の渡航は止めてください。

【概況】

1 概況

(1) 2008年のロシアが軍事介入したジョージア国内での大規模な軍事衝突以降も、ジョージアからの分離独立を求めるツヒンヴァリ/南オセチア及びアブハジアにおいてロシア軍が占領を続けており、それぞれの「行政」境界線（ジョージア政府の統治が及んでいる地域との境界線）付近では、現在も周辺住民の身柄が拘束される事件が頻発しているほか、銃撃により死亡する事件も発生しています。また、激しい戦闘のあった地域においては、不発弾が依然として残っています。「行政」境界線は必ずしも明確に示されておらず、誤って境界内に踏み入れる危険があるため、周辺地域には近づかないようにしてください。

ツヒンヴァリ/南オセチア及びアブハジア内を除くロシアとの国境付近は、ジョージア政府の管理下にあり、近年、戦闘や住民の拘束等は確認されていません。しかし、ジョージアとロシアは、上記軍事衝突以降、国交を断絶したままであり、国境付近の警戒態勢は続いている。コーカサス山脈に沿った国境も必ずしも明確に示されていない場所が多く、情勢により不当に拘束されることや、軍事的緊張が急激に高まる可能性があるため、国境付近への不要不急の渡航は止めてください。

なお、首都トビリシ市を始め、上記以外の地域の情勢は比較的安定していますが、1991年にジョージアが独立して以降、政党間の激しい対立が続いている、議会選挙の時期等政治情勢に応じてトビリシ市内や他の主要都市で大規模な抗議集会やデモが行われ、衝突が発生しています。

滞在に当たっては報道等を通じて最新の情勢を把握するよう努めてください。

テロはどこでも起こり得ること、日本人も標的となり得ることを十分に認識し、テロ・誘拐に巻き込まれることがないよう、「たびレジ」、海外安全ホームページ、報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切かつ十分な安全対策を講じるよう心掛けてください。 詳細はジョージアの「テロ・誘拐情勢」もご覧ください。

（https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_200.html）

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ : <http://www.anzen.mofa.go.jp>
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、

外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903
 外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306
 外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047
 までお問い合わせください。